

会長メッセージ

医療と福祉の連携による地域共生社会に向けて

全国福祉医療施設協議会

会長 松川 直道



会員施設の皆様におかれましては、日頃より本会事業の推進にご支援とご協力を賜り、また、多様な福祉ニーズを有する人々に対して無料低額診療事業に取り組まれておられますことに心より感謝申し上げます。

また、本年1月1日に発災した能登半島地震にて被災された皆様、ご家族・関係者の皆様におかれましては心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年は診療報酬、介護報酬、障害者事業に関する報酬とトリプル報酬改定の年でした。全国福祉医療施設協議会には、高度急性期、急性期、回復期、慢性期と様々な病院が加盟していただいておりますが、地域包括ケアのなかで機能分化と連携が進む昨今、今回の報酬改定を受けて自分たちの病院の立ち位置を改めて把握し、お互いが協力をしていくことが必要となるのではないかと考えます。

また、会員施設の中には介護事業を併設されている病院も多数あると思われれます。そういった意味では今回の改定は医療と介護の連携という面にも影響してくるものと思われれます。

加えて、地域共生社会の実現として医療、福祉、介護の連携と協働が必要となってくるなか、全国社会福祉協議会を構成する社会福祉法人は高齢福祉事業、障害福祉事業、子ども・子育て支援事業という、まさに地域共生社会の実現に向けたそれぞれの実践を持った団体です。そのため、地域共生社会を実現するにあたりお互いがますます協働していくことが重要となってくるのではないかと考えます。

このような情勢のなか、私たち全国福祉医療施設協議会は無料低額診療事業を着実に実施し、今日的なあり様に発展させていくという使命を持っていると考えています。皆様におかれましては引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。